

平成 25 年度 (2013 年度)

事業報告

平成 26 年度 (2014 年度)

事業計画(案)

事業報告

事業報告一覧.....	2	4 日本語学習事業	
総括報告.....	3	4-1 日本語教室.....	11
		4-2 国際子どもクラブ.....	11
1 外国人の人権擁護と自立支援		5 子どもの健全育成事業	
1-1 生活相談.....	3	5-1 子どもの健全育成支援.....	12
1-2 シェルター.....	4	6 行政・NGO との協働	
1-3 DV講習会・生活相談勉強会.....	4	6-1 行政との協働事業.....	13
1-4 パソコン教室.....	5	6-2 行政関係会議・関係事業.....	13
1-5 携帯電話通訳事業.....	5	6-3 NGO・NPO・協力ネットワーク.....	13
2 国際理解と国際交流の推進		7 その他	
2-1 国際理解講座、イベント.....	6	7-1 機関誌「ハローフレンズ」.....	15
2-2 大学との協働、インターシップ.....	6	7-2 ホームページ.....	16
2-3 語学教室.....	7	7-3 FICEC 利用.....	17
3 多言語情報の収集と提供		7-4 その他〔FICEC 事業・理事会・スタッフ会議〕	17
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」...8			
3-2 生活ガイドホームページ.....	10		
3-3 翻訳.....	10		
3-4 出版、編集.....	10		

事業計画 (案)

1 事業計画一覧.....	20
2 事業計画 (案).....	21-22



キーワード

多文化が未来を拓く

ミッション

ふじみの国際交流センターは富士見市、ふじみ野市、三芳町ならびに周辺の地域に居住する外国籍等の人たちの自立支援と、一般市民・団体との交流・協力活動を推進し、豊かな多文化共生社会の実現を目的とする。

ビジョン

子どもの教育	日本に暮らす外国ルーツの子ども達が、等しく教育を受け、基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援する。
多言語情報	情報やコミュニケーション手段が不足していることで不利な状態に置かれている人に多言語や、やさしい日本語で情報を提供し、安心、安全な基本的生活を送るための支援をする。
日本語支援	日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援する。 一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう支援する。
生活相談	相談者の直面している困難に対応し、生活状態の向上につながるよう支援する。
国際交流	日本人と外国人が互いの独自性に誇りを持ち、自由に考えを表現できる交流の場を作る。
社会的役割	日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となる。 外国人を取り巻く現状を伝え、多文化がもたらす豊かさと課題を社会に発信する。



↑ FICEC 事務所入り口



↑ 国際子どもクラブ 場所：市民活動支援センター

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	支出額(千円)	
外国籍等市民の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC・富士見市役所	10名	879件	2,490	
	シェルター	通年	FICEC・県内	10名	延382名		
	DV講習会・生活相談勉強会	19回	FICEC・他	10名	175名		
	パソコン教室	第2,4木曜24回	FICEC	延48名	延147名		
	携帯電話通訳事業	月一金 8時-17時	東松山市	3名	0名		
国際理解と国際交流の推進	国際理解 社会教育	国際理解講座	9回	小中高校・公民館他	35名	1,000名	203
		大学との協働	3大学	大学・県NPO活動推進課	20名	114名	
	語学教室	中国語教室	金49回	FICEC	延108名	延542名	
		英語教室	木49回	西公民館	延49名	延308名	
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	12回	FICEC	13名	4800部	1,208	
	生活ガイドHP維持管理	5回/年	FICEC	8名	アクセス数 113,658件		
	翻訳	51件	FICEC・県内	延130名	埼玉県民		
	出版、編集	2冊	FICEC・他	13名	3,000名		
日本語学習支援	日本語教室	52回	FICEC	11名	延250名	395	
	国際子どもクラブ	土曜、長期休暇中	市民活動支援センター	延342名	延403名		
子どもの健全育成	子どもの健全育成支援	月・水・金 291回	藤久保公民館・他	延1,215名	延1,733名	6,322	
行政との協働	行政との協働事業	通年	県内	30名	埼玉県民	0	
	NGO・NPO・協力ネットワーク	39回	県内	3名	埼玉県民		
その他	機関誌の発行	隔月	FICEC	11名	6,000部	0	
	ホームページ	随時	FICEC	3名	アクセス数 443,929件		

《総括報告》

ふじみの国際交流センター（FICEC）開設 16 年の今年は、その活動が自他ともに認められ、事業内容も拡充した年になったと思う。

まずはスタッフ。40 歳代の人がスタッフとして大勢係わってくれるようになった。彼女たちはエレガントでエネルギッシュで様々なスキルの持ち主であり、それを生かしてそれぞれに活躍してくれる。FICEC が安定して、時代に合った活動ができるのも、7 月に外務大臣表彰を受けられたのも、10 年来のベテランに加え、50 歳、60 歳代の責任感溢れた中堅スタッフと若い彼らのおかげ様と感謝している。

12 月には埼玉県指定・認定 NPO 法人として認証された。それを機に 3 月末からサポーター制度をスタートさせ、寄付が集まるのを期待しているところである。

在日外国人事情は年々変化している。今年シェルターで保護した DV 被害者は半数が外国人同士のカップルだった。永住者や定住者の資格を持った外国人の、離婚や再婚が活発に繰り返されているからだろう。富士見市を例にとってみると、日本人と外国人との国際結婚家庭が 499 組あるのに対して、外国人同士の夫婦がその 1.3 倍の 624 組生活している。日常会話が日本語でない家庭がたくさん存在している現実がある。

また、子どもや大人の日本語教育も日本語習得によって生活がしやすくなるだけでなく、その場でいろいろな生活相談を受けて問題解決に至るケースも多く、単に日本語教育の場と言うだけではない大きな意味を持っている。

FICEC のミッションである「多文化が未来を拓く」の実現に向けて試行錯誤しながら全力投球し、みんなで力を合わせた、充実した 1 年間であったことを実感している。（文責：石井ナナエ）

1 外国人の人権擁護と自立支援

■1-1 生活相談

毎日 10 時～16 時まで受け付けている生活相談に加え、4 月からスタートした富士見市役所での出張生活相談も定着し、毎週数人の相談者が訪れている。特に今年は医療通訳依頼と、母国に残した子どもの呼び寄せに関する相談が多かった。2 市 1 町の日本語教室に通うように勧めるのだが、呼び寄せる親自身が母国での教育を十分受けていない上に、日本語を身につけることが難しい人が大半で、サポーターとしてどうしたら良いか悩んでいる。行政のケースワーカーは「働け、働け」というのだが、日本語の読み書きができない上に、癌や緑内障など大病を患っている人が多い。病気が完治した後も生活保護から抜け出すことができない。生活保護からの自立は本人の努力だけでは多くの困難がある。FICEC の外国人スタッフは同国人に頑張ろうとする意識を持ってもらいたいと、温かく、粘り強く、時には強く、アドバイスを続けている。

FICEC の事務所に寄せられた日本人からの相談の 9 割が県内各地の行政職員からの相談である。「窓口で外国の人が母国の子どもを引き取りたいと相談に来ているのですが、どうしたらいいですか」というように聞いてくれる。設立して 17 年、お互いの信頼関係の下、行政との連携ができてきたことを実感しうれしく思っている。

地域別に集計してみると相談総数 879 件の 12%がふじみ野市・富士見市・三芳町以外からの相談となっている。各地の行政窓口にさまざまな相談に行く外国ルーツの人が増えているのを感じる。

医療	医療費、病院へ同行（入院手続き等）、うつ、アルコール依存	76
家族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	80
教育	日本語支援、学習支援、入園・入学手続き、学校との連絡	345
言語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	45
司法	税金、犯罪、裁判・法務局への同行・支援、子どもの国籍	29
住居	住まい探し、引越しの手伝い	21
生活	生活費、生活保護、近隣関係、国民年金・保険手続き、遺族年金	153
入管	ビザ、在留カード申請・更新、帰化、帰国、保証人	37
労働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害、労災保険	93
合 計		879

ふじみ野市	372	朝霞市	6
三芳町	205	坂戸市	5
富士見市	200	志木市	4
川越市	32	鶴ヶ島市	4
所沢市	7	飯能市	4
東松山市	7	その他	33

フィリピン	337	ペルー	15
中国	140	インドネシア	16
コロンビア	112	台湾	11
※日本	86	ネパール	6
ブラジル	83	その他	50
パキスタン	23		

*日本：外国人から相談を受けた行政職員や外国人の配偶者や知人など

■1-2 シェルター

今年は6組13人の母子を保護したが、その中には安易に家を出て来た人もいて、自分だけで子どもを育てていく覚悟ができていない。DV被害ならば生活保護が受けられる事を知っていて、人に頼ることばかり考えている人もいて、ステップハウス(ショートステイできる施設)のような冷静に考える時間と場所を設ける必要があるだろう。

また、今年度シェルター入居者の50%が外国人夫からの暴力を受けた人で、外国人同士の夫婦が増えているのを実感する。

■1-3 DV講習会・生活相談勉強会

勉強会・研修会	
6/18	生活相談勉強会
6/22	日本社会事業大学グローバル化の中の移住労働者
6/28	国立武蔵野学院視察
7/25	DV連携会議〈危機管理防災センター〉
8/8	埼玉県立大学「外国籍の子どもの家族問題」
9/12	通訳ボランティア講座〈ソニックシティ4階〉
9/18	NPOセミナー

10/15	生活相談勉強会
10/18	DV民間団体交流会〈さいたま新都心〉
12/3、1/30	通訳者ネットワーク勉強会〈浦和パルコ〉
12/14	DV講座「デートDVと思わぬ妊娠」 〈ふじみ野市サービスセンター会議室〉
12/17	生活相談勉強会「愛着障害」
12/18	DV法律相談〈北浦和〉
2/3	ヌエック主催「ジェンダー視点プログラム」
2/4	ヌエック主催「在日外国人支援者とともに考える会」 〈四谷プラザエフ〉
2/18	生活相談勉強会「300日ルール」
2/27	通訳ボランティアレベルアップ講座
3/18	生活相談勉強会「生活保護」



■1-4 パソコン教室

従来通り（外国籍の方+FICECスタッフ+日本人枠）で月2回の授業を行った。

25年度は比較的継続率も出席率も安定しており、参加された方々の実力の向上が顕著に見られた一年だった。

学習者が熱心に積極的にチャレンジされている姿勢に講師のほうも元気をもらった一年だった。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
講師	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48

外国人	9	8	7	7	7	5	8	8	7	5	7	6	84
日本人	7	7	3	6	5	3	6	5	8	3	6	4	63
学習者合計	16	15	10	13	12	8	14	13	15	8	13	10	147

■1-5 携帯電話通訳事業

コミュニティービジネスとして始めた携帯電話による通訳事業も、東松山市1か所だけ契約が続いていたが、今年度を以て終了することになった。

行政窓口に行く必要がある日本語が十分わからない外国人はたくさんいるはずなのに、需要に結びつかない現実が、なんとも寂しい。

通算で3年半続いた事業で得た150万円の預金残は一般会計に繰り入れることにした。

外国人の自立支援を最大の目標にしているFICECとしては、これからも何らかの形で、県内を網羅できる通訳システムを作りたいと考えている。

■2-1 国際理解講座・イベント

5/23	「FICEC の活動について」〈埼玉大学〉 講師/石井	
8/20	彩の国ボランティア体験プログラム 〈大井中央公民館〉 講師/ジュリエッタ・ノエミ	
9/19	外国人の人権講座 〈坂戸西高校〉 講師/石井	
11/10	富士見市国際交流フォーラム 〈ふじみ野交流センター〉 講師/ジョージ・ミナ・アイリ (交流コーナー) ジュリエッタ・ニーランティエ (外国人の主張)	
11/18	国際理解授業 〈富士見市関沢小学校〉 講師/ミナ・劉 桂霖	
12/13	国際理解講座 〈富士見市ふじみ野小学校〉 講師/チェリリン・ニーランティエ・葉 秋君・ 劉 桂霖	
12/21	NPO 法人地域と笑顔の親の会絆との協働事業 協力/ふじみ野市・和光市 「地域 GOGO デビュー大作戦」国際子どもクラブ お楽しみ会	
1/7	NPO 法人新座子育てネットワークとの協働事業 協賛/NEC 協力/ふじみ野市 国際子どもクラブ特別授業「NEC 多文化共生プログラミング」	
2/16	「地域 GOGO デビュー大作戦」初めての地域参加者のパネルディスカッション パネラー/国際子どもクラブより 1名参加	

■2-2 大学との協働、インターンシップ

FICEC では大学や NGO との協働でインターンシップ受け入れや、日本工業大学との日本語教材ソフト開発事業を行っている。

① 埼玉大学

平成 25 年度は、テーマ教育プログラム〈社会と出会う〉「NPO と出会う II」を履修している学生 2 名を受け入れた。

NPO の活動を通して、「社会人になる事」「仕事をするという事」「社会に関わる事」という事はどういう事かについて、学習するのが目的である。平成 25 年度は、国際子どもクラブの活動を中心に、学習支援、七夕まつり出店の手伝い、国際交流イベントを主に手伝ってもらった。

また、NPO と企業とのマッチングフォーラムを傍聴してもらい、様々な角度から、NPO の活動を体験する機会を持てるようにした。

② 社会事業大学

7 月下旬と 12 月下旬 2 回にわたり 2 名の学生を受け入れた。

1 人は 7 日間連続して事務所に通ってもらい、1 週間の NPO の仕事の流れを体験してもらった。他の 1 人は、希望日が 12 月下旬で、受け入れには難しい時期だった。だが、今年度は国際子どもクラブの事業が 12 月下旬と 1 月上旬にあり、その手伝いを中心に活動した。

埼玉大学	インターンシップ 10 日間 国際子どもクラブ (学習支援とバーベキュー大会手伝い)
------	---

	日本語指導 七夕まつり出店手伝い 国際交流イベント手伝い 外国人スタッフとの話し合い
社会事業大学	インターンシップ 各7日間 国際子どもクラブ学習支援 日本語指導 研修会参加 イベント手伝い 外国人スタッフとの話し合い
文京大学	インターンシップ受け入れについて、担当教師との話し合い

2014年1月、インターンシップの学生受け入れの要項を改定した。

学生1人、1日に付き、2000円を負担してもらうことになった。

③ 日本工業大学との協働による「外国人向け日本語教育ソフトの開発」

毎年同様の開発が続く企画であるが、内容が理解されてくるに従い、内容が洗練されてくるように感じられる。4分野にわたって3年目に入ったわけだが、宮代町と言う遠隔の地にあって指導の先生、学生諸氏が5月16日、7月11日、10月17日、1月9日と何度もFICECに足を運んでくれるのは有難かった。

★開発ソフト1 「教室にあるものを調べてみよう」

来日したばかりの児童が小学校で見聞きするさまざまなケースを紹介し、1日でも早く学校や級友と仲良くなれるよう手助けするソフト。

★開発ソフト2 「簡単に覚えられる漢字の書き方」

小学校で学ぶ教育漢字1006字を毎年1学年ずつ作り上げていくもの。ビジュアルな演出で覚えやすい漢字の勉強法となることを期待

★開発ソフト3 「スマートフォン対応漢字練習帳」

漢字練習帳の大人版。ゲーム感覚で漢字に親しめるよう工夫しているもので、スマートフォンでも学べる。

★開発ソフト4 「日本語マスター とりあえず街に出かけてみよう」

生活に慣れるにはまずものの名まえ、使い方から始めよう…と言うことで病院、銀行、郵便局、警察、駅、スーパーなど身近なものをイラストで紹介し、使い方を説明。日本語教室での活用が期待されているもの。

■2-3 語学教室

①英語教室

全49回・延べ308名の参加

日時/毎週木曜日 19時～20時と 20時～21時

場所/西公民館

講師/アメリカとフィリピン出身の2名

学習者/社会人7名

木曜日夜間の英語教室は、3～4人の少人数制で英会話の学習をしている。指導者の出身地が違うことから、語学学習を通してその国の文化についても知ることができる。

また、今年度は先生と夏と冬に2回食事会を行い、交流を図っている。



②中国語教室

日時／毎週金曜日 10 時～12 時 場所／FICEC 事務所

長年ボランティアで中国語を教えてくださいと加え、西武文理大学の中国人留学生が毎週ボランティアとして来てくれるようになった。時事問題を話せるとあって、日本人生徒が増え毎回にぎわっている。

フェイスブックに載ったある日の彼のメッセージには、「今日の中国語教室は現在中国のマスコミ状況を話し合いました。具体的にはテレビ・ラジオ・新聞の現状と特徴についてです。来週はパソコン・スマホ・ソフトウェアの通信産業の状況を紹介したいと思います。」とあり、ボランティアとしての意気込みが感じられる。

③その他の教室 場所／FICEC 事務所

外国籍等市民の自立の支援の一環として外国語教室を開きたいと希望する人に対して、連携事業による教室の提供も実施した。

・英語教室一月曜 13 時～14 時 ・中国語教室一土曜 18 時～20 時

3 多言語情報の収集と提供

■3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

インフォメーションの内容を、理解して読んでくださることを祈念して、2014 年の 4 月号で 200 号になった。100 号目でも同様の感想を持ったのだが、よくぞ続けさせていただいたという感想がまず出てくる。これもひとえに FICEC 運営にかかわってきてくださった方々の、強い理解があつてこそと思うと、ますます内容の充実を目指すことの大切さを痛感する。

内容についても、法律的な問題も多くなり文章を構成するにあたっての表現に腐心するようになってきた。今後も分かり易さを前面に出して努力したい。また外部ニュースに合わせ内部ニュースと位置付ける私たち団体の活躍も随時積極的に取り上げていきたいものである。

本誌を特色つけている表紙イラストも、引き続き執筆頂き有難く思う。今後は、多岐的な活用も考えてもよいのではないだろうか。

「インフォメーションふじみの」は、発刊当初から行政の各窓口に届けているが、「お陰さまで 200 号になりました」の挨拶に驚かれる方も多い。実際、毎月の発刊に少なからずの費用がかかっているだけに、無償での活動を思うと FICEC の実力を語る尺度となっていると言える。そうしたこともあつてか、今期も富士見市では「広報 ふじみ」で、「インフォメーションふじみの」のメインタイトルを入れてくださってきた。掲載を希望する市民、団体の活動が多い中、こうしたご厚意には気持ちが熱くなる。

今後、メディアの形態が様変わりする中で、紙媒体としての効果も問われるところでもあろうが、FICEC の経営が健全である限り 300 号を目指して発刊を続けていきたいものである。



発行の概要	A4判 1色×1色 16ページ
翻訳言語	中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語
発行回数、部数	毎月1回、年12回、毎月400部、年4800部発行
発行場所	2市1町の公的機関。他に県下主要公的機関や関係機関。また各日本語教室にも受講生への配布をお願いしている。また全会員には日本語版のみを郵送している。
活動内容	毎月1回第一火曜日を編集会議にあて、内容の充実を図っている。
作業の流れ	企画決定⇒原稿作成⇒翻訳依頼⇒受領⇒内容精査⇒印刷原稿作成⇒印刷⇒配布
スタッフ	企画・原稿作成・編集・6ヶ国語翻訳・印刷・配布関係 計13名

188号 4月号	朗報！ 富士見市役所内にふじみの国際交流センターの「生活相談コーナー」ができました 「国際子どもクラブ」を知っていましたか・日曜日はミニ蒸気機関車を楽しんでください・就学援助制度について・ファミリーサポートセンター・驚き価格のリサイクル家具
189号 5月号	丁寧な日本語で話していますか 友だちがいっぱいできる「子育て支援センター」って知っていますか・DVD「埼玉で暮らそう」完成・新開設「生活相談」IN 富士見市役所・予防接種の方法が変わりました
190号 6月号	年をとって働けなくなった時、若い時の年金加入が生きてきます 健康度をチェックしてくれる「人間ドック」・園児の保護者に嬉しいお話・勉強はお任せください、「国際子供クラブ」・「ふじみ野市生活ガイド」完成・夏休みは「ふじみ野寺子屋」で
191号 7月号	仕事が原因のけがや病気「労災」で保障されます 大人の風疹ワクチン予防接種の費用の一部を負担・幼稚園等就園奨励費の支給開始・法テラスで「無料法律相談」・ふじみガーデンビーチ7月13日オープン
192号 8月号	住所変更届けは「転出届」と「転入届」の2ステップで 外国籍市民にも住民票コードがおくられています・「子育てネットワーク」の仲間を募集中・外国人のための高校進学ガイド・ふじみ野市民に朗報「大井総合支所」オープン
193号 9月号	映画・音楽・インターネット・書籍がいっぱいの知的空間「図書館」 FICEC ではどんなことをやっていますか・「つるせよさこい祭り」10月20日に出かけませんか・10月1日から富士見市でもパスポートが取れます・外国人労働者相談コーナー知ってましたか
194号 10月号	ひとり親家庭応援ガイド 就学時健康診断が各小学校で始まります・「国民健康保険証」が送られてきましたか・今年も富士見市国際交流フォーラムが開かれます・健康ワールドツアー「フィリピンの文化を学ぶ」
195号 11月号	アルバイトをしたいのですが「資格外活動許可書」ってなんですか 26年度公立保育所・市立保育園・市立放課後児童クラブの申し込み開始・国民健康保険の「特定健康診査」11月30日で終了になります・富士見市恒例「国際交流フォーラム」に出かけませんか
196号 12月号	日本で暮らす外国籍のお母さん、みなさんは日本語の勉強をしていますか 「ひとり親家庭児童就学支度金支給制度」って知っていますか・インフルエンザ予防接種をお勧めします・「日本の味、蕎麦打ち体験教室」を実施・「国際子どもクラブ」のお楽しみ会に来ませんか

197号	支援してくれる人がいます。一人で悩まずに相談してください。DV 被害者支援マップ
1月号	20歳になった方を祝う「成人式」の連絡は来ましたか・インフルエンザは手洗いが有効・12月1日から自転車の乗り方の法律が厳しくなります・ひとり親家庭の子が小学、中学に入る時お祝いが
198号	配偶者と離婚・死別した後のビザはどうなるの?
2月号	富士見市にもあったイチゴ狩りができるどころ・富士見市役所内でもセンターの「生活相談」をやっています・FICECのフェイスブックを知っていますか・「ひな祭り」を実施
199号	就労ビザの変更はどうなるの
3月号	埼玉県最低賃金を知っていますか・FICECのパソコン教室を知っていますか・ママも見られています! 卒業式・入学式の親のマナー・簡単日本語教室「数の教え方」

■3-2 生活ガイドホームページ

富士見市・ふじみ野市・三芳町より変更指示を受け、多言語版ホームページを更新した。

毎年数回の更新を重ね、FICECのホームページの中でも年間113,658件とアクセスの多いページとなっている。情報を必要としている外国人や外国人支援の関係団体にさらに利用してもらうためにPRをしていきたいと思っている。

今年度より、翻訳者が直接Webページ作成ソフトを使用して翻訳作業を行ったり、スタッフを増やして作業の効率化を図った。

■3-3 翻訳

- ・富士見市より、シャバツツ市長への親書（英語）2件
- ・一般市民からの依頼 49件

■3-4 出版、編集

「7カ国語による快適生活情報クリップ」DV編の作成
 これまで3年間、指定寄付金をいただきダイジェスト版、生活編、教育編、住居編、入管編を作成した。外国人が日本で安心して快適な暮らしを送るための手引きとして、また、外国人支援をしている人たちが情報を持ち合うことで孤立することなく、誇りを持って活動を継続することを目的としている。

6冊目となる今年はDV被害者の実態と対応、自立への経路、課題を提示した。外国人へのエールとともにあえて苦言を呈し、DV被害者が一日も早く今の生活から脱却し、自分を取り戻し、社会を担う市民としての自覚を持つ指針となることを望むものとなっている。



■4-1 日本語教室

1) FICEC 日本語教室

- ・開催／毎週木曜日 10:00～12:00、開講回数／52 回
- ・学習者数／平均 4.8 人 2～10 人／回



学習者の数は毎回ばらついているが、ホームページを見て参加する学習者が多い。人数も昨年と大きくは変わらず、安定している。初心者も多い。

・日本文化を味わってもらう授業／日本的な味わいを体験してもらおうと季節ごとに行う伝統行事、本年は昨年同様であった。1月書初め 2月豆まき 3月桃の節句 5月端午の節句 5月お茶摘み 7月納涼ソーメン試食会 12月年越しそば打ち

★名所・弁天の森の花見ができなかったので来年は実施したい。

- ・日本語教室終了後の意見交換会が予定されていたが、完全といえないまま終了、今後の課題として残った。また予定されていた「東上線沿線 日本語教室案内」が 26 年度に延期になった。

2) 大井日本語教室（大井中央公民館委託事業）

開催場所：大井中央公民館

開催日時：木曜—19:30～21:30、土曜—13:30～15:30

木曜夜クラスは、在住外国人労働者が、土曜昼クラスは外国人妻や子どもが日本語の勉強に来ていた。しかし川越から通っていた学習者が激減したため、木曜クラスは今年度をもって終了することになった。

■4-2 国際子どもクラブ

- ・毎週土曜日、ふじみ野市立市民活動支援センターで 9 時から 12 時まで、子ども達に日本語指導、学校の教科指導、生活指導、進路指導をしている。
- ・夏休みは週二回、ふじみ野市立市民活動支援センターで実施し、それ以外の日で FICEC まで通える子ども達には適宜指導をしている。
- ・今年度は、フィリピンルーツで日本語がまったく話せない子ども達の参加が多くあった。学習者が増えてきたが、続けられないで途中で来なくなる子ども達をどう支援するかが、今後の課題になる。
- ・今年度は 2 名高校受験に合格した。
- ・学習支援者も増え、多くのボランティアが定着してきている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学習者	17	30	40	45	54	24	30	22	46	33	25	37
ボランティア	19	21	41	32	44	31	30	23	23	26	25	27
計	36	51	81	77	98	55	60	45	69	59	50	64
実施日	4回	4回	5回	6回	8回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	5回

学習者延べ数：403 人 支援者延べ数：342 人 計：745 人

■5-1 子どもの健全育成支援

活動日時 小学生 … 毎週月水金 15:00～17:00 (登録人数 16)

活動日時 中学生 … 毎週月水金 19:00～21:00 (登録人数 18)

支援日数

(3月31日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(日)
小学生(昼)	12	12	12	13	12	11	11	12	10	11	12	11	139
中学生(夜)	13	13	12	14	13	13	13	13	11	12	12	13	152
計	25	25	24	27	25	24	24	25	21	23	24	24	291

支援対象児童・生徒数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(人)
小学生(昼)	42	58	55	72	73	55	71	79	63	68	74	83	793
中学生(夜)	61	78	58	76	67	111	94	106	75	85	76	53	940
計	103	136	113	148	140	166	165	185	138	153	150	136	1733

支援者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(人)
小学生(昼)	44	23	96	30	45	31	37	34	29	30	36	35	470
中学生(夜)	95	92	46	66	48	60	55	61	50	58	52	62	745
計	139	115	142	96	93	91	92	95	79	88	88	97	1215

①成果…(小学生) 様々な背景の子どもたちがいる中、年を重ねるごとに学習が定着し、性格が穏やかになっている。支援の連携が強くなっている。

(中学生) 中3生 10名全員が無事に高校進学を果たし、長年関わりのあった子どもたちの支援はひとまず一段落した。

②課題…(小学生) 学校に適応できるよう日本語指導と平行して教科支援を続けていく。

(中学生) 学力不足や不規則な生活状況により、高校をドロップアウトしてしまうケースもあり、継続して高校生活を定着させるための支援が必要である。今年度も居場所としての機能が大きかった。

③目標…(小学生) 今抱えている子どもを継続して支援する。小1からの支援が特に有効。

(中学生) 高校進学による生徒数減少に伴い、新たに支援を必要とする子どもを繋げることが当面の目標となる。関係機関との連携を密にし、情報共有と支援体制を強固にする。

■6-1 行政との協働事業

- 1) ふじみ野市・富士見市・三芳町より「外国人生活相談窓口業務」委託（参照 1-1）
- 2) ふじみ野市・富士見市・三芳町より「外国籍市民のための生活ガイドホームページの作成業務」委託
- 3) 埼玉県より「一時保護（シェルター）の運営事業」委託（参照 1-2）
- 4) 三芳町健康カレンダーの制作
 - ・名称：平成 26 年度保健センター事業一覧（保存用）
 - ・言語：日本語・英語・中国語・タガログ語の 4 カ国語
 - ・サイズ：A-4 8 頁
- 5) ふじみ野市生活ガイドブック更新業務（英語・中国語・韓国語・フィリピン語・ポルトガル語）
- 6) 富士見市「保存版ごみの出し方」翻訳業務（やさしい日本語・英語・中国語・フィリピン語）

■6-2 行政関係会議・関係事業

4/5	助成金説明会〈埼玉教育会館〉
4/10	助成金申請〈県庁〉
4/23	助成金について三芳のスタッフと打ち合わせ
5/7、6/18、9/20、12/11、2/6	ふじみ野市社会教育委員会議 〈第 4 庁舎会議室〉
5/22	三芳町子どもを守る地域ネットワーク協議会
5/26、6/24、11/7、1/15、2/15	ふじみ野市要保護児童対策連絡会
6/28	ふじみ野市教育委員会教育研修
9/30、11/20、3/15	ふじみ野市社会福祉協議会理事会
10/7	2 市 1 町国際化担当者会議 〈富士見市役所〉
11/10	富士見市国際フォーラム協力〈ふじみ野交流センター〉
2/1	ふじみ野市市民活動交流会「広げよう 人の輪」〈上福岡西公民館〉
3/6	ふじみ野市ボランティアネットワーク運営委員会〈総合福祉センター〉
3/28	県社会福祉課「子どもの健全育成支援専門員事業」決算書提出

■6-3 NGO・NPO・協力ネットワーク会議

4/16	南西部地域 NPO 連絡会 運営委員会 〈朝霞市産業文化センター〉
4/16	彩の国 NPO、大学ネットワーク〈知事公館〉
5/8	南西部地域 NPO 連絡会 運営委員会 〈東上まちづくりフォーラム〉
5/23	国際交流・協力ネット 25 年度第 1 回幹事会 〈県国際交流協会〉
5/24	南西部地域 NPO 連絡会 全体会 〈朝霞市産業文化センター〉
6/3	NGO ネット 13 年度総会 〈浦和パルコ、コムナーレ〉
6/4	国際交流・協力ネット 全体会 〈日本語国際センター〉
6/17	こども大学みよし 実行委員会 〈淑徳大学埼玉キャンパス〉
6/22	こども大学みよし 入学式、「スポーツで輪を作ろう」〈淑徳大学埼玉キャンパス〉
6/26	南西部地域 NPO 連絡会 第 2 回運営委員会 〈朝霞県土建事務所〉

7/7	6市1町日本語教室連絡会 〈大井中央公民館〉
7/11	第4回埼玉アジアフォーラム カンボジア 〈さいたま商工会議所〉
7/20	第2回子ども大学みよし 「ハンドボール」 〈大崎電気体育館〉
7/22、9/12、1/16、25、3/6	さいたま NGO ネット 定例会 〈浦和パルコ、コムナーレ〉
8/3	第3回子ども大学みよし 「カラーセラピー」 〈きずなステーション〉
8/30	南西部地域 NPO 連絡会 Web による情報共有勉強会 〈東上まちづくりフォーラム〉
9/18	埼玉県新しい公共支援事業 成果発表会 〈新都心ビジネス交流プラザ〉
10/4	第5回埼玉アジアフォーラム ミャンマー 〈埼玉県県民健康センター〉
10/10	NGO ネット 定例会・勉強会 〈浦和パルコ、コムナーレ〉
10/12	第4回子ども大学みよし 〈木村屋パン総本舗三芳工場〉
10/17	南西部地域 NPO 連絡会 第3回運営委員会 〈朝霞県土建事務所〉
10/30	国際交流・協力ネット 第2回幹事会 〈県国際交流協会〉
10/30	南西部地域 NPO 連絡会 交流会 〈朝霞市産業文化センター〉
11/2、3	国際フェア 2013 NGO ネット出展 〈けやきひろば〉
11/7	コープみらい助成金 社会貢献活動助成金事前説明会 〈コーププラザ浦和〉
12/4	南西部地域 NPO 連絡会 第4回運営委員会 〈朝霞県土建事務所〉
1/14	国際交流・協力ネット 意見交換会 〈入間市役所〉
1/17、3/4	子ども大学みよし 実行委員会 〈三芳町役場〉
2/9	NGO ネット グローバルセミナー2014 〈クインズ伊勢丹〉
2/12	南西部地域 NPO 連絡会 〈朝霞県土建事務所〉
3/8	平成 25 年度キーパーソン研修会 講演会・活動報告・意見交換等 〈埼玉会館〉
3/18	三芳町協働推進会議 平成 25 年度協働のまちづくり総括 〈三芳町役場〉
3/20	第6回埼玉アジアフォーラム メコンの宝石 ラオス 〈大宮ソニックシティホール〉

■日本語教室ボランティア連絡会

散在する東上線沿線日本語教室のボランティアが一堂に会し、日頃話題になっているものを紹介し合いながら、問題点を探っていこうとする会議。教え方、テキストの問題、スタッフの問題、運営の問題、最近注意したいこと、助成金など自由な発想で意見を交換する場である。

・参加団体

朝霞地区インターナショナルソサエティー (AIS)・イーブン (IVN)・大井日本語クラス・大井親子日本語クラス・大井弁天の森日本語サロン・かざぐるま日本語教室・上福岡西公民館日本語教室・新座日本語の会・富士見日本語サークル・ふじみの国際交流センター・みよし日本語教室・和光国際交流会

・開催日

4/14 朝霞地区インターナショナルソサエティー (AIS)

7/7 大井日本語クラス

10/6 かざぐるま日本語教室

1/19 新座日本語の会

■7-1 機関誌「ハローフレンズ」

○2013年4月号(第125号)
<ul style="list-style-type: none"> ●富士見市役所で外国人生活相談 <ul style="list-style-type: none"> ・ふじみの国際交流センターの業務として実施 ●「埼玉で暮らそう」(7カ国語版) <ul style="list-style-type: none"> ・外国人生活ガイドDVDが完成しました ●外国人のための防災ガイドブック <ul style="list-style-type: none"> ・大学生の協力で7カ国語版が完成 ●外国人サポートの現場から <ul style="list-style-type: none"> ・結婚狂想曲。はらはらしてしまう異性関係 ●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●第34回青少年を健全に育てるための市民大会 <ul style="list-style-type: none"> ・パキスタン出身のサタール・イクラさんが発表 ●上福岡駅前ふじみ野支援センターで「国際子どもクラブ」を開催 ●FICEC活動報告
○2013年6月号(第126号)
<ul style="list-style-type: none"> ●ふじみの国際交流センター第15回通常総会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ、ご参加をお願いいたします。ふじみの国際交流センターのマーク、ロゴを決めました ●外国人労働者の現状 <ul style="list-style-type: none"> ・日本では約68万人の外国人が働いています ●外国人を受け入れる事業所訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 崇徳会 高齢者総合ケアセンター マザーアース ●外国人サポートの現場から <ul style="list-style-type: none"> ・年の差婚 相続でトラブルになることも ●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●蔵書自慢のFICEC日本語教室 <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の方の日本語能力の向上にご協力ください ●日本工業大学との協働で日本語教育ソフトを開発 ●ふじみの国際交流センターの「facebookページ」を開設
○2013年8月号(第127号)
<ul style="list-style-type: none"> ●ふじみの国際交流センター第15回通常総会が開催されました <ul style="list-style-type: none"> ・全ての議題を原案通り可決し、無事終了しました ●スタッフが語る 平成25年度事業計画 ●事業所訪問…児童自立支援施設 国立武蔵野学院 ●外国人サポートの現場から <ul style="list-style-type: none"> ・日本人と外国人の問題から外国人同士の問題に変化 ●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●FICECのfacebook、もうご覧になりましたか? ●「見送りの三振より空振りの三振[II]」がついに完成!
○2013年10月号(第128号)
<ul style="list-style-type: none"> ●ふじみの国際交流センターが平成25年度外務大臣表彰受賞 <ul style="list-style-type: none"> ・7月31日に六本木の外務省飯倉公館において表彰式が行われました

<ul style="list-style-type: none"> ●外国人を受け入れる事業所訪問2 …川越市の株式会社T G I ●一般社団法人アクラス日本語研究所7月研修会に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ともに考える多文化共生社会づくり～持続可能な未来のために ●外国人サポートの現場から <ul style="list-style-type: none"> ・法的結婚でないとダメ？ ●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●今年も開催！「ワールドツアー」 ●インターン活動報告
○2013年12月号(第129号)
<ul style="list-style-type: none"> ●富士見市 平成25年 国際交流フォーラム開催 <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日(日)に「広げよう!! み～んな仲良し!」をテーマに開催 ・「楽しかったよ! 外国のゲーム」 ・外国人の主張: 吉井ジュリエッタさん、関ニーランティさん ●外国人サポートの現場から <ul style="list-style-type: none"> ・東京入国管理局へようこそ ●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●「学ぶということ」 ●ふじみ野学童フェスティバルに参加しました
○2014年2月号(第130号)
<ul style="list-style-type: none"> ●埼玉県指定・認定NPO法人になりました <ul style="list-style-type: none"> ・ご寄附をいただいた際、税制優遇措置があります ●DV防止出前講座 <ul style="list-style-type: none"> ・デートDVと予期せぬ妊娠 ●国際子どもクラブの活動 <ul style="list-style-type: none"> ・恒例のお楽しみ会(パーティ)を開催 ●NEC多文化共生プログラミング講座を体験 ●外国人サポートの現場から <ul style="list-style-type: none"> ・玄関の横のもう一つの入り口 ●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●外国人を受け入れる事業所訪問…川越市の人材派遣会社 ●ふじみ野小学校での国際理解授業に参加

■7-2 ホームページ

	全体のアクセス件数	トップページ等	インフォメーションふじみの	生活ガイドホームページ	ニュースルーム
2013年4月	36,518	3,488	13,934	9,048	2,066
5月	34,035	3,395	12,057	8,371	2,072
6月	32,863	2,906	12,524	7,686	1,805
7月	37,278	3,748	12,383	9,068	2,254
8月	35,938	3,017	13,606	9,278	1,874
9月	36,461	3,039	14,603	9,057	1,849
10月	40,468	3,069	16,140	9,782	2,379

11月	38,269	3,096	14,264	11,101	1,392
12月	37,938	3,896	13,091	10,850	1,935
2014年1月	39,722	4,075	13,407	11,645	1,616
2月	38,040	3,038	15,478	9,687	1,989
3月	36,399	3,257	16,306	8,085	1,928
計	443,929	40,024	167,793	113,658	23,159

■7-3 FICEC利用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開館日数	26	26	25	28	26	25	28	27	24	24	25	25	309	
来訪者	外国人	76	100	112	117	176	125	163	127	122	107	115	148	1488
	日本人	48	56	53	64	48	51	52	60	83	49	44	53	661
	小計	124	156	165	181	224	176	215	187	205	156	159	201	2149
スタッフ	外国人	15	22	15	17	19	23	18	14	20	13	14	19	209
	日本人	175	204	160	177	181	176	193	167	139	166	166	175	2079
	小計	190	226	175	194	200	199	211	181	159	179	180	194	2288
合計	314	382	340	375	424	375	426	368	364	335	339	395	4437	

■7-4 その他 (FICEC 事業を含む)

4/7	イオン黄色いレシートキャンペーン贈呈式		
4/30	よりそいホットライン 社会的包摂サポートセンター		
5/31、6/2	監査	6/23	総会
6/28	認定NPO申請〈県庁〉		
7/31	外務大臣表彰受賞式		
9/3	FICEC ボーリング大会		
9/29	学童フェスティバル準備会〈大井中央公民館〉		
10/8	母子支援施設むつみ会内覧会〈戸田市〉		
10/13	学童フェスティバル〈ふじみ野市東久保中央公園〉		
10/26	スエック民間団体による外国人支援 カンボジア、ラオス、ミャンマーの市職員来所		
11/1	JICAアジアの人身売買防止担当者研修にタイ人、ラオス人来所		
11/11	「スクラッチ勉強会」〈新座子育てネットワーク〉		
12/10	フィリピン台風被災地支援バザー		
12/24	FICEC 大掃除		
1/7	子供のためのプログラミングワークショップ〈ふじみ野市第2庁舎〉		
1/9	COOP 助成金申請ヒヤリング		
1/26	理事会と新年会		
2/12	NPO関連 26年度事業ヒヤリング		

2/24、3/17	ラズベリーパイプロジェクト会議
3/8	生活協働組合パルシステム埼玉「市民活動支援金」贈呈式（蕨市）

理事会・スタッフ会議

月 日	会 議	内 容	出席
4/9	第1回 スタッフ会議	日本司法支援センター「法テラス」説明、「よりそいホットライン」事業説明会参加、富士見市役所内「外国人生活相談」がスタート、Facebookの利用について、会員アンケート	12人
4/13	第2回 スタッフ会議	日本語教室連絡会、富士見市国際友好協会役員会、FICEC ロゴマークの検討、アスポート「生活保護受給者チャレンジ支援事業」、ボランティア希望者の活用、国際子どもクラブ学習者増加について	12人
5/11	H24年度 第8回理事会	総会資料、24年度事業報告、25年度事業計画の検討、決算書類の検討、Facebookの利用について、ふじみの国際交流センターロゴの検討、助成金申請「NPOと企業とのマッチングフォーラム」、「彩のくにさいたま国際協力基金」の申請	10人
5/14	第3回 スタッフ会議	よりそいホットライン準備会、ボランティア登録者の紹介、25年度予算の検討、富士見市役所内生活相談窓口、「彩の国さいたま国際協力基金」の申請、シェルターの使い道、市教育委員会に協力要請、FICEC ロゴ検討	12人
5/5	H24年度 第9回理事会	総会資料、予算書の検討、指定NPO、認定NPO同時申請、総会での役割分担、ロゴ検討、国際子どもクラブの今後の開催場所について	9人
5/28	第4回 スタッフ会議	生活相談育成研修会、新座子育てネットワーク協働事業の提案、日本工業大学ソフトウェア作成、Facebook状況、現在申請中の助成金、南西部地域NPO連絡会、彩の国NGO全大会	11人
6/11	第5回 スタッフ会議	大島監事、石田監事監査報告、NGO ネット総会、現在申請中の助成金、健全育成支援事業状況、「多文化子育てネットワーク」、内閣府男女共同参画「地域における男女共同参画連携支援事業」、「見送りの三振より空振りの三振 Part II」完成	10人
6/23	第1回理事会	内閣府男女共同参画「地域における男女共同参画連携支援事業」助成金申請、コピー機リース契約、25年度理事会日程、監事からの提案	12人
6/25	第6回 スタッフ会議	生活相談学習会報告、ふじみ野市要保護児童対策協議会、ボランティア登録者の紹介、日本語教室の近況、健全育成支援事業状況、夏休みインターンシップの申し込み、新座子育てネットワークIT協働事業の要請、	10人
7/9	第7回 スタッフ会議	外務大臣表彰受賞、リコーコピー機のリース契約、シェルター用携帯電話について、三芳町子ども学習広場の近況と夏休みの計画、「国際フェア2013」出店検討、企業とのマッチングフォーラム、研修者への資料代	10人
7/23	第8回 スタッフ会議	日本工業大学「日本語教材ソフトウェア開発」、国際子どもクラブ七夕まつりに出店、多文化共生社会づくり「持続可能な未来のために」講習会参加、サポーター制度の取り入れ、ホームページの今後について	11人
7/27	第2回理事会	FICEC内規、会計細則、謝金規定の見直し、FICEC ミッションの明文化、サポーター制度の導入、ホームページの内容と仕様、「視察、訪問」「インターンシップ」受け入れについて	8人
8/27	第9回 スタッフ会議	「フィリピン体験ワールドツアー」報告、リコーコピー機利用、上福岡七夕祭り、NPO 体験事業インターンシップの受け入れ、国立女性会館ヌエックから視察要請、ふじみ野市学童保育フェスティバルへの参加協力、2市1町国際化会議	10人
9/10	第10回 スタッフ会議	企業マッチングフォーラム、埼玉県共助社会づくり課「認定・指定NPO」調査、国際こどもクラブイベント、「スクラッチワークショップ」、埼玉県「みんなでサポート事業」、コミュニティー助成事業（宝くじ事業）、パルシステム助成金申請、HP構成について、事務所内配置換えの提案	13人

9/24	第 11 回 スタッフ会議	共助社会づくり課主催 NPO セミナー報告、国際子どもクラブバーベキュー大会、視察・見学・インターンシップ受け入れについての文書、全県通訳ボランティアネットワークの提案、富士見市国際フォーラム	13 人
9/28	第 3 回理事会	コミュニティー助成事業申請（地域国際化推進助成事業）報告、「インフォメーションふじみの」2014 年 4 月 200 号記念について、ミッション検討委員会経過報告	8 人
10/8	第 12 回 スタッフ会議	学童保育フェスティバル、埼玉大学インターンシップ報告会、高校受験に向けた教科スケジュール体制、2 市 1 町国際化担当者会議、全県通訳ボランティアネットワーク、記念パーティーの開催について	10 人
10/22	第 13 回 スタッフ会議	学童保育フェスティバル報告、日本工業大学教材ソフト開発、無料通訳ボランティアネットワーク第 1 回顔合わせ、富士見市国際フォーラム、関沢小学校国際理解講座、アスポートからの高校生インターンシップ受け入れ要請について、「よりそいホットライン」その後	16 人
11/12	第 14 回 スタッフ会議	国際交流・協力ネットワーク会議報告、南西部地域 NPO 連絡会交流会報告、プログラミングソフトスクラッチ講習会、冬休み中のインターンシップ受け入れ、ふじみ野市要保護児童検討会議委員募集、コープみらい社会貢献活動助成金申請、FICEC 内バザー開催について	9 人
11/16	第 4 回理事会	キーワードとビジョンの検討、ホームページリニューアルとバナー広告掲載企業の募集、前期事業報告と会計報告、「認定 NPO 法人の認定、外務大臣表彰受賞、インフォメーションふじみの 200 号」記念パーティー	7 人
11/26	第 15 回 スタッフ会議	日本社会事業大学インターンシップ生受け入れ、コープみらい助成金申請、パルシステム埼玉市民活動支援金申請、子どもの健全育成報告、フィリピン被災地支援バザーの開催、FICEC キーワードとビジョンの検討、	12 人
12/10	第 16 回 スタッフ会議	フィリピンの被災者支援義援金活動、「インフォ」2 市 1 町幼稚園、保育園送付について、通訳ボランティア第 2 回会議報告、関沢小学校国際理解講座、FICEC ホームページリニューアル、ふじみ野市市民活動交流会	9 人
1/14	第 17 回 スタッフ会議	FICEC 新年会、フィリピンの被災者支援の義援金活動報告、国際理解講座、国際子どもクラブのお楽しみ会、子供のためのプログラミングワークショップ、認定・埼玉県指定 NPO 承認の報告、生活相談スタッフの見直し	13 人
1/26	第 5 回理事会	「埼玉県指定 NPO 法人」「認定 NPO 法人」認証、キーワードとビジョンの決定、サポーター制度導入案、インターンシップ受け入れにあたってのお願い、平成 26 年度新理事推薦について、会計報告	7 人
1/28	第 18 回 スタッフ会議	日本工業大学「ソフトウェア設計」成果発表会報告、ボランティア新規登録者の紹介、「インターンシップ受け入れにあたってのお願い」、サポーター制度導入について、子ども大学みよし	11 人
2/9	臨時理事会	県社会福祉課「子どもの健全育成支援専門員事業」の次年度についての話し合い	5 人
2/25	第 19 回 スタッフ会議	生活協働組合パルシステム埼玉「市民活動支援時助成事業」、「ラズベリーパイ」の企画、子ども大学みよし企画、サポーター制度、FICEC 組織再編、「6.15 総会とパーティー」第 1 回実行委員会報告	10 人
3/1	第 6 回理事会	子どもの健全育成支援専門員事業終了、機関紙「ハローフレンズ」季刊発行、26 年度仮予算、「インフォメーションふじみの」経費削減について、総会と「祝賀記念パーティー」、26 年度助成金申請	7 人
3/11	第 20 回 スタッフ会議	総会と「祝賀記念パーティー」について、富士見市国際フォーラム、ラズベリーパイの企画	10 人
3/25	第 21 回 スタッフ会議	ラズベリーパイの企画、携帯電話通訳事業終了のあいさつ、当番編成スペイン語翻訳者について、FICEC ホームページ「スタッフ紹介」更新、総会後の感謝パーティー	11 人

平成 26 年度 事業計画案

今年 3 月 14 日から、日本の調理師学校で学んだ外国人留学生は、日本の調理師学校に通う間は「留学」となる在留資格を、卒業後は「特定活動」に切り替えて 2 年間在留を延期する制度がスタートした。

また、2015 年から、オリンピックに向けて建設業の労働力を確保するために、政府は外国人技術者ビザを通算 3 年から 8 年に延長する方針を決めた。若者を受け入れれば、労働者である前に生活者であるから福祉や教育の問題も考えなければならない。「外国人を受け入れたら人間だった」というフランスの格言に表わされるように、彼らは仕事をするが恋愛も結婚もするだろう。これからはますます、きめ細かな国内の外国人支援が重要になってくると思う。

また、埼玉県における外国人登録者はここ 10 年間で 35% も増えている。東上線沿線だけでも 2 万人以上の外国籍の人が住んでいるが、彼らをサポートする施設はふじみの国際交流センター以外にはなく、気軽に集える場所もない。県内各地から生活相談を受けるようになった現実を考えても交通の便の良い拠点の必要性をひしひしと感じる。

拠点をどこにするかが毎度のことながら悩みのもとになっているが、現在の拠点は駅から遠い上に交通の便が悪いため、生活相談や勉強の為に来所する外国人が困っている。そこで今年は県の「豊かな地域作り推進事業」に応募したいと考えている。毎年数々の助成金申請にチャレンジしても、99% 採用されない現実ではあるが、FICEC の事業を継続するために何度でもチャレンジしていきたい。

		事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国籍等市民の人権擁護と自立支援		生活相談	通年	FICEC・富士見市役所	10 名	900 件
		シェルター	通年	FICEC・県内	10 名	延 400 名
		DV 講習会・生活相談勉強会	15 回	FICEC・県内	10 名	400 名
		パソコン教室	第 2,4 木曜 24 回	FICEC	2 名	延 150 名
国際理解と国際交流の推進	国際理解社会教育	国際理解講座	7 回	小中高校・公民館等	12 名	1000 名
		大学との協働	3 大学	大学・県内	20 名	1000 名
	語学教室	中国語教室	金曜	FICEC	4 名	延 500 名
		英語教室	木・火曜	西公民館	2 名	250 名
多言語情報の収集と提供		生活情報誌の発行	12 回	FICEC	11 名	4800 部
		生活ガイド HP 維持管理	4 回/年	FICEC	6 名	アクセス数 120,000 件
		翻訳	随時	FICEC	15 名	埼玉県民
		出版、編集	随時	FICEC	3 名	埼玉県民
日本語学習支援		日本語教室	木曜	FICEC	12 名	延 250 名
		国際子どもクラブ	土曜、長期休暇中	市民活動支援センター	10 名	延 450 名
行政との協働		行政との協働事業	通年	県内	20 名	埼玉県民
		NGO・NPO・協力ネットワーク	40 回	県内	3 名	埼玉県民
その他		機関誌の発行	隔月	FICEC	10 名	8000 部
		ホームページ	随時	FICEC	5 名	アクセス数 500,000 件

1.感謝 Party の開催

外務大臣表彰受賞と埼玉県指定・認定 NPO 法人取得と「インフォメーションふじみの」200号発行を記念して「あなたがいたから、感謝 Party」を6月15日にふじみ野市の「フクトピア」で開催する。

2.生活相談

県の社会福祉課保護係が生活困窮者支援担当課に名前を変えた。政府が生活困窮者の自立に力を入れることに方向を変えたい。FICEC に相談に来る人の中には生活保護を受けている人がたくさんいるが、彼らをどう自立に導くか、日本語教室と連携しながら相談を続けていきたい。

3.シェルター

外国人のシェルター担当スタッフの実力がついてきて、かなりの部分で「私たちにまかせて下さい」と言ってくれるようになった。なんとも頼もしく嬉しい傾向である。地域の為に役に立ちたいと考えている外国人と相互に協力しあいながら、DV被害者母子の自立支援をしていきたい。

4-1.日本語教室

- ①日本語指導者の意見交換会を2～3カ月に1回程度に実施し、現場の声から新しく目指すものを引き出す機会としたい。
- ②桜の季節には格好の立地条件にありながら、つい見過ごされてきた日本語教室の観桜会。本年はセンターとしてのイベントとして企画立案してみたい。可能ならば近隣の教室も誘い教室同士の絆を強めていきたい。

4-2.「東上線沿線日本語教室ガイド」改訂版の作成

一昨年自主的に開発した「東上線沿線日本語教室ガイド」の改訂版を作成する。作成費は「パルシステム埼玉市民活動支援金」を充当する。

基本を崩さず、今一度各教室の意見も集約し充実したより使い勝手のある内容のものにしていきたい。

5.国際子どもクラブ

子どもクラブの参加者は昨年 605 人に対して今年は 745 人で、学習者、支援者合わせて 150 名近く増えたことになる。

そのため、今借りているふじみ野市立市民活動支援センターが手狭になってきた。

今後も増加する子どもたちに備え、市民活動支援センターの他、必要に応じてサービスセンター2階の会議室も子どもクラブの教室として使いたい。そのためには、会議室使用料として 1000 円/1 回の費用が必要となる。

The poster is for a 'Thank You Party' (感謝 Party) celebrating the 200th issue of 'Information Fujimi'. It features the FICEC logo at the top right. The main title is 'あなたがいたから 感謝 Party' (Thank you for your presence, Thank You Party). The date is 6/15 (Monday) from 12:00 to 14:00. The venue is 'ふじみ野市フクトピア1階 展示ルーム' (Fujimi no City Fuctopia 1st floor Exhibition Room). The fee is 1,000 yen (including a 500 yen donation). The poster lists the content: '世界の料理' (World Cuisine) from Thailand, Philippines, Vietnam, China, Colombia, India, and others; '200号ストーリー' (200th Issue Story); and 'FICEC 活動スライドショー' (FICEC Activity Slide Show) for members. It also provides contact information for FICEC and social media links. At the bottom, there is a registration form with fields for name, phone number, address, and email.

6.FICEC ホームページのリニューアル

【ポイント】

- ①これまでの膨大な情報の中から、大切な物・アクセスの多い物は今後も継続して閲覧できるように考えた。
- ②日本人も外国人も利用しやすいように。
- ③日本語のわからない外国人にも FICEC の活動を理解してもらえるように。
- ④現在の HP の情報を整理する。

【工夫点】

- ・アイコンと多言語を使用して、操作性を工夫。
- ・内容も外国人が利用する物については多言語で表示。やさしい日本語での表記も追加した。
- ・トップページにて情報を9つに分類し、それぞれのトップページの左側にリスト化した内容を配置して、見やすくかつ探しやすいページになるようにした。



7.サポーター制度の拡充

3月から始めたサポーター制度。FICECの15のプロジェクトのうち、サポートしたいと思うプロジェクトを指定していただいて、寄附を募る方法を採用した。郵送した特定の領収書を年末の税金の申請に添付してもらい、節税してもらおうというもの。今年はパンフレットをあちこちに配り、サポーター制度を皆さんに知っていただき、たくさんの寄附が集まることを期待している。

8.「外国人災害時緊急カード」の作成

地域国際化推進助成事業として宝くじ組合からの助成を受け、11カ国、5種類の「外国人災害時緊急カード」を10万部作成する。

氏名、生年月日、出身国、母語、パスポートナンバー、緊急連絡先の他に最寄駅から家までの地図を自分で書き込める。3つ折りのカード形式で、外国人が災害弱者にならないように工夫してある。あらゆる手段を使って県内の在住外国人に届けたい。

9.日本工業大学との協働による学習ソフトの開発

開発当初の企画趣旨を受け継ぎながら、毎年3年が担当する研究課題授業、日本語初心者向けの学習ソフト開発も4年目に入った。

年を経るごとに、内容が改良され使い勝手の良さが手に取るようになった感触は、ことさら出来上がりに夢を持たせてくれる。今年こそ、実践で使用できるソフトが出来上がることを期待している。

10.機関誌「ハローフレンド」

これまで隔月で発行していたが、平成26年度は年4回（春号、夏号、秋号、冬号）の季刊誌発行とする。

埼玉県指定・認定NPO法人
ふじみの国際交流センター

理事長 石井ナナエ

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井 2-15-10 うれし野まちづくり会館 2 F
TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291 URL://www.ficcc.jp/